

立高時代の経験は一生ものです

弁護士 きくがわ ひろし
菊川 洋 氏(高校45期)

1993年3月 立川高校卒業
1998年3月 明治大学法学部卒業
2007年4月 司法修習生(旧61期)
2008年9月 弁護士登録
2022年1月 新座中央通り法律事務所開設(現在に至る)



■立高時代

現在の校舎ができたとき、立高に入学しました。文実・山岳部に所属し、第二外国語はロシア語でした。演コンや展示を中心に立高祭にどっぷりはまった3年間でした。このとき【努力して成し遂げる楽しさ】を知りました。『自主自律』を履き違えて、心得違いを色々しました(大目に見て下さった先生方に感謝)。

坂口先生(地理)の選択科目「世界はいま」で得た教訓は、今も生きています。

■司法試験合格・司法修習まで

明治大学法学部に入り、司法試験の勉強を始めました。就職氷河期だったので、就活せずに司法浪人になりました。ところが、勉強しているのに、何年経っても受からない。後輩が先に合格する。職歴も資格もなく今さら就職に戻れない。焦りました。結局、「闇雲な勉強ではダメだ。受かるための方法論が必要だ」と気付き、勉強のやり方を変えたらようやく受かりました。11回目でした。応援し続けてくれたのが、立高の仲間です。

司法修習に行くと、若い天才・秀才がたくさん居て「とんでもないところに紛れ込んでしまった」と衝撃を受けました。実務修習(松山)では、偶然にも7人の班に立高出身者が3人配属されました。坂田知範さん(高校43期・援団)、濱井耕太君(高校53期・野球部)とつるんで、立高で培った行動力を存分に発揮し、充実した修習を満喫しました。



司法浪人中 立高の仲間と(諏訪湖花火大会)

■弁護士として

修習を終え、弁護士になりました。弁護士業は職人仕事です。イン弁として13年ほど修行しました。環境法で最高裁判例を得る機会もありました。実務に入り、受験時代の何倍も勉強しています。書籍代は毎年100万円くらいかけています。

そして、コロナ禍を機に、独立開業しました。今は、ライフワークバランスを考え、仕事を選び好みして、気楽にやっています。

弁護士業は、感謝され、やりがいがあり、自分で仕事をコントロールできる。大変ですが、天職です。終生現役、勉強を続けます。

■立高生へのメッセージ

立高時代【努力して成し遂げる楽しさ】を知ったおかげで、つらい勉強や気が重い仕事にも耐えられました。『自主自律』は、今も精神的基盤です。

立高の3年間、失敗をおそれず、人の迷惑を顧みないくらいの行動力で、色々な経験をすることを強くお勧めします。大概のしくじりは、誤魔化さなければ、叱られたとしても、何とか耐えます。